

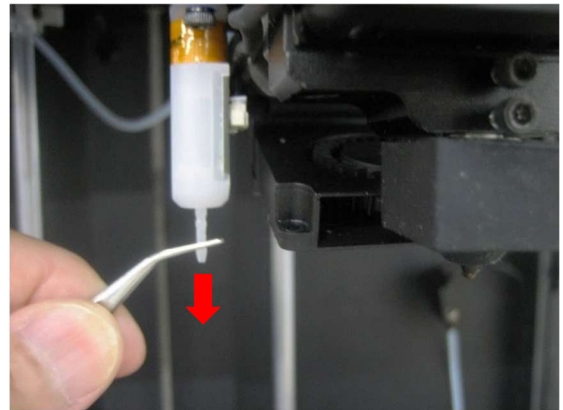
MF-900 で Zプローブが動かないと、高さの計測ができず、「エラー11」や「エラー12」が表示され、プリンターが使用できなくなります。この場合まずは、フィラメントの糸などがピンに絡まっていないか、エアーで吹いて掃除してみる手があります。それでもピンが動かずエラーが出る場合は、以下のクリーニングを行ってみます。ピンが曲がっている場合も、この資料を参考に、補正を行ってみてください。但し、ピンの曲がりの場合、状態によってはZプローブセンサーの交換が必要となる場合があります。

いずれにしても、このZプローブピンは非常に繊細な部品なので、余分な力をかけないように、慎重に作業を行ってください。力をかけすぎるとピンが折れてしまう可能性があります。

また、この作業は、ヘッド温度が十分下がっている状態で実施してください。

1. 装置の電源を切りエクストルーダを手で持って中心付近に移動させます。

2. ピンセットを使用し、Zプローブセンサーのピンを引き出した状態にします。



3. アルコールを含ませたウエスで、ピンを撫でるように軽く拭きます。



4. ピンが曲がっている場合、曲がっている方向と逆の方向に、ゆっくり軽く力を入れずに（撫でるように）曲げ直してみてください。力を入れ過ぎると折れてしまいますので、十分注意の上行ってください。



※注意

「エラー 11」や「エラー 12」が表示された場合、Zプローブセンサー含む装置故障も疑われますので、基本的にはメーカー修理をご依頼ください。また、本インフォメーションに記載された作業により、回復しても一時的であったり、作業中のピン折れ・曲げの原因になる可能性もありますことを、ご理解下さい。

通常使用時は、Zプローブピンを手で触らないよう、十分注意してください。

以上